

一般質問

町の発展はメトロ福岡構想で

答弁／実現ならば町の将来は明るい



古庄 信一郎 議員

古庄

志免町の将来像について何が、合併が実現しない現在、志免町の自治運営上大事な広域行政事業は、ゴミ処理や水道など現在37件にも及び、将来的にも福岡市や近隣自治体と協調しなければならぬ。そのような中、道州制の議論と連動するように高島福岡市長が福岡都市圏17市町による都市州「メトロ福岡構想」の推進を発表した。福岡空港の拡充もあり、このエリアが全体的に発展していくためには、この構想も一つの選択肢では是非推進

町長

広域行政の喫緊の課題にはゴミ問題がある。メトロ福岡構想は正式に何っていないが、志免町の小さな小さな町は広域行政なくしては生きていけない。今迄、福岡市を核として、行政課題に取り組んできた。福岡市と一体となった行政運営ができれば、志免町の将来は明るいと思う。

なり、アクションを起こすべきだ。



太陽光発電住宅

省エネ隊、節電の日の制定を

答弁／「節電隊」を編成して頑張る

古庄

電力不足対策として、福岡県は14%の節電目標を掲げ、各自治体に要請をされた。しかし志免町では明確な節電目標値も、目新しい節電対策も無いよう職員による「省エネ隊」とか、庁舎・職員を挙げ、一体感を持って取り組み、その目標を皆で達成した時の達成感は何かに繋がる。

町民の節電意識向上のためにも、「節電の日」を制定し、公共が先頭に立って推進すべき。石炭で繁栄して来た志免町として、再生エネルギーの推進、特に太陽光発電を公共施設に積極的に投入すべきである。

町長

節電は国を挙げての重要課題です。「節電隊」を編成、スローガン等を作成し広報にあたる。家庭用太陽光パネルの設置問い合わせもきており、目標を達成できるよう庁舎、町を挙げて頑張るので、町民の皆様にも是非同調頂きご支援を賜りたい。